

# 石巻地域センター地域支援課活動報告

石巻地域センター（以下、当課）の2021年度の東日本大震災による被災地域での活動は、石巻保健所管内の石巻市、東松島市、女川町であった。

## 【地域住民支援事業】

被災以降、体調の不良を訴える方、心の悩みをかかえる方への支援や、他機関からの紹介や本人からの直接相談などの要望に応じてきたが、支援機関の撤退に伴い、紹介ケース数が減り、相談件数は減少してきている。

### 1. 個別支援

#### （1）石巻市（復興公営住宅入居者健康調査後のハイリスクフォロー）

##### ①令和2年度復興公営住宅入居者健康調査

復興公営住宅入居者健康調査は、石巻市健康部健康推進課（以下、健康推進課）から2021年3月～4月に55世帯61名の協力依頼があり、訪問調査などによる個別支援を行った。依頼内容は表1のとおりである。

表1 2020年度の訪問調査依頼内訳

K6：13点以上	53名
K6：10-12点+男性+18-64歳+相談相手いない	6名
体調とても悪いorあまり良くない+病気ないor治療中断（医師の指示除く）	2名

新型コロナウイルス感染症拡大により訪問などが困難な時期が続き、2021年8月に健康推進課に表2のとおり報告した。

表2 2020年度の訪問調査報告内訳

継続して支援	5名
終了・情報提供	51名
未確認（不在・拒否）	5名

継続支援の方々には、随時、電話や訪問を実施し、状況変化があった場合には健康推進課に報告し、全て2022年3月末で支援終了となった。

##### ②令和3年度復興公営住宅入居者健康調査

復興公営住宅入居者健康調査は、健康推進課から2022年1月に38世帯44名の協力依頼があり、訪問調査などによる個別支援を行った。なお、復興公営住宅入居者は35世帯40名、市営住宅入居者が3世帯4名だった。依頼内容は、表3のとおりである。

表3 2021年度の訪問調査依頼内訳

K6：13点以上	34名
K6：10-12点+男性+18-64歳+相談相手いない	7名
体調とても悪いorあまり良くない+病気ないor治療中断（医師の指示除く）	3名

調査は、2022年3月までに終了し、健康推進課に表4のとおり報告した。

表4 2021年度の訪問調査報告内訳

継続して支援	2名
終了・情報提供	40名
未確認（不在・拒否）	2名

継続支援の方々には、主に経済的な問題がある生活支援が必要な方々で、随時電話や訪問を実施し、状況変化があった場合には健康推進課に報告をすることにした。

## (2) 東松島市

2020年度県災害公営住宅健康調査の要フォロー者支援、2021年度特定健診こころのケアアンケート要支援者フォローを当課から職員を派遣し行った。

災害公営住宅健康調査では、34世帯34名に対し4月22日～6月24日まで17回（実日数15日）で、要フォロー者（K6：18点以上/24点、朝昼から飲酒、精神疾患医療中断）の状況確認とその後のパンフレット配布を兼ねた訪問、必要時関係機関との調整を行い、情報共有をしたのち、報告書を作成した。

2021年度特定健診こころのケアアンケート要フォロー者は、K6が20点以上27名、希死念慮のある方14名が対象だった。8月23日～11月1日まで24回（実日数21日）で状況確認、必要時関係機関との調整を行い、情報共有をしたのち、報告書を作成した。

## (3) 女川町

女川町健康福祉課健康対策係（以下、健康対策係）の保健師からの依頼に基づき、同行訪問を行った。いずれも精神疾患の疑いがある方々で、他機関から保健師に支援要請があり、同行支援を求められたものであった。訪問で状況を把握し、支援方針を保健師と一緒に検討しながら対応した。

### 【支援者支援事業】

#### 1. 支援者コンサルティング事業（専門的立場からの助言など）

##### (1) 石巻市

- ① 健康推進課との打合せでは、事業への協力依頼、ケース支援への助言を求められることが多かった。また、健康推進課と複数回事例検討を行った。

各種乳幼児健康診査に参加し、親子の健康状態を確認するとともに、親が抱えている問題を聞くことが多かった。健康診査後のカンファレンスにも参加し、当日のスタッフとともにフォロー方法などを検討した。

健康診査以外では担当保健師が支援が必要と判断した子どもの特性、対応の仕方や、さまざまな背景をもつ親への対応の仕方をともに検討し、随時の相談と同行訪問などもした。

- ② 子育て世代包括支援センター「いっしょ issyo」（以下、包括支援）での子育て相談ではコロナ禍で里帰りや子育て支援センターの利用を控えるなど、窮屈な環境で育児せざるを得ない親の苦労を聞くことが多かった。相談場面では、親自身の傷つき体験を話すことがあったが、気持ちを受け止めると、次第に落ち着き、自分の状況を俯瞰し、前向きな考えに至ることがあった。相談内容として多かったものは、子どもの発達に関する事、職場復帰への心身の準備に関する事、仕事と家庭、育児の両立、ダブルケア（※）に関する事、引っ越しや頻発する地震、親の不和などが子どもにどう影響するかという不安、被災による親族との離散、死別により応援者のいない孤独な育児などであった。

また、包括支援のスタッフから、ケース相談を受ける際の話の聴き方やその対応の良否、支援者自身の共感疲労などについて相談を受け、助言を行った。

##### (2) 東松島市

年度当初、隔月に東松島市、石巻保健所、当課との打合せを開催することにした。また、東松島市自死対策地域連絡協議会、ひきこもり関連事業を考える会に参加した。

※ダブルケアとは、広義では家族や親族など、親密な関係における複数のケア関係、そこにおける複合的課題。狭義では、育児と介護の同時進行の状況のことである。育児と介護、介護と孫支援など、少子化・高齢化におけるケアの複合化・多重化の問題に焦点をあてる概念。

### (3) 女川町

健康対策係とは定期的に打合せを行い、精神保健福祉事業や個別ケースなどの共有を行った。また、健康福祉課福祉係からの依頼で、町の若手職員と民生委員対象の自殺対策研修会の講師派遣依頼を受け、当課職員が対応した。

## 2. 支援者のメンタルヘルス支援事業（研修や面談など）

### (1) 自死予防対策研修

2017年度から石巻保健所との共催事業として実施してきた。2021年度はコロナ禍もあり、石巻保健所と協議し、圏域の自治体では、それぞれ自死対策計画による研修を進めていることから本研修は実施を見送ることとした。

### (2) アルコール研修

2019年度から石巻保健所との共催事業でアルコール関連問題の特性や支援方法に関する知識や技術の理解を深めること、身体科医療と精神科医療との連携、保健および福祉に携わる職員が連携して支援ができるようになることを目的として開催してきた。

テーマ	「アルコール治療における身体科と精神科について」
開催日時	2021年12月15日 18時30分～20時30分
会場	宮城県石巻合同庁舎大会議室
参加者	約60名
講演①	「身体科領域におけるアルコール関連診療」
講師	仙台市立病院救急救命センター 救急科医長 高瀬 啓至 氏
講演②	「専門医療機関のない地域でのアルコール問題を考える」
講師	震災こころのケア・ネットワークみやぎからこころステーション代表理事 原クリニック 院長 原 敬造 氏

### (3) 子どものこころのケアに携わる支援者に対する支援

#### ①子ども支援施設等訪問事業

2021年度は7回実施した。6件は施設訪問、1件は包括支援スタッフ向け講話であった。通常、施設訪問は、事前に担当保健師から子どもを取り巻く家族を含めた環境などの情報提供を受け、当日は子どもの行動観察後、スタッフカンファレンスをした。

カンファレンスでは施設側支援者、子どもや家族支援担当の保健師が一堂に会し、子どもの問題行動の見立てなど、意見交換をした。事例により取り上げる詳細は若干違うが、問題行動の理解と対応、愛着形成のリスク、自己肯定感、感情の表出、共感の連鎖、支援者のメンタルヘルスなどが講話のテーマとなった。また、対応に難しさを感じる子どもの支援に際し、支援者自身が孤立することもあり、この事業を通じて、ケースの見立てや支援方法などを共有し、互いの労をねぎらいあい、支援者の孤立を予防する機会になった。

包括支援スタッフ向け講話では、親からの相談を聴く姿勢や、保護者向けの防災研修における震災当時の記憶の扱い、親自身が抱える問題とその子どもに対する支援者の感情移入への対処などの質問を受けた内容となった。包括支援スタッフは、子育て相談において、さまざまな相談を受けていることから、被災地に住む支援者自身が経験したことをフラッシュバックするなど、メンタルヘルスを大事に扱うことも大切なことだと気づく機会となった。

#### ②子どもの心のケア地域研修

2017年度から石巻圏域で被災者支援にあたる保健、保育、教育などに携わる支援者を対象に、2市1町と各教育委員会との共催で実施してきたが、2020年度に引き続き2021年度もコロナ禍のため中止とした。

## 【普及啓発事業】

### 1. メンタルヘルス普及啓発促進事業

#### (1) 石巻市向陽市営健康相談会

石巻市蛇田地域包括支援センターの依頼を受け、2019年度から支援している。2021年度は月1回開催を計画したが、台風とコロナ禍により6回が中止となった。6回の開催で参加者は団地住民延べ48名だった。

#### (2) 健康講話

女川町で住民を対象に健康対策係が主催した「心のケア講座」の企画、運営、実施に協力をし、当センター非常勤精神科医を講師として派遣した。

テーマ	： 「地域の支え合い～うつ病と認知症について～」
講師	： 国見台病院 副院長 原田 伸彦 氏

#### (3) 石巻昼例会

2015年度から、石巻市、NPO法人宮城県断酒会（以下、断酒会）、当課で実施してきた石巻断酒会ミーティングは、2021年4月から断酒会石巻昼例会として活動を開始した。

また、断酒会からの依頼により、2021年10月10日の「全国＜東北＞断酒の集い2021 東日本大震災から復興10年 東北は今」で『断酒会との共同事業の報告』～みやぎ心のケアセンター石巻地域センターの活動を振り返って～」を当課職員が報告した。

### 2. メンタルヘルス情報の発信（広報誌やHPでの発信、資料の公開など）

石巻保健所および2市1町からの情報提供の依頼に対応した。

## 【まとめ・今後の展望と課題】

2市1町と当課の打合せ会に2020年8月から石巻保健所も参加するようになった。圏域の連携強化のために、各種事業の情報交換や市町の状況についての話し合いを行った。2021年以降はコロナ禍で石巻保健所の出席が難しくなった。

2021年度の地域センター全体会議で石巻市より「石巻市復興公営住宅入居者等健康調査からみえる課題等について」、石巻保健所より「災害公営住宅入居者健康調査結果 ～宮城県災害公営住宅入居者健康調査から見える石巻圏域の課題等について～」のテーマで話題提供をしていただいた。その中で、両機関から「健康問題に加え、対応困難な事例が増加しており、支援者への専門的助言が必要になってきている」という意見があった。

当課は、これまでのように保健所、2市1町、他機関からの依頼などには、相談をしながらできる限り丁寧に対応していきたい。